

東京の「匠の町」で ものづくりにチャレンジ! 伝統工芸技術の継承者を募集

ものづくりの町荒川区が、全国から伝統工芸技術の継承者を募集します。

隅田川に囲まれた下町の荒川区は、東京23区の北東に位置する町で、江戸時代から伝えられてきた技術（伝統工芸技術）を持つ職人が、たくさん活躍しています。

伝統工芸技術は、荒川区が誇る文化財であり、協力しあって大切に守っています。

荒川区に伝えられてきた江戸の伝統や文化を未来に伝えるために、伝統工芸に関心がある若者、職人への弟子入りを希望する若者をサポートするのが「荒川の匠育成事業」（荒川区伝統工芸技術継承者育成支援事業）です。



額縁 吉田一司



伝統工芸技術の職人たち

荒川区では伝統工芸技術を持つ職人を、区の登録・指定無形文化財（工芸技術）保持者として認定しています。



あらかわの伝統技術展

昭和56年3月から続く職人の祭典「あらかわの伝統技術展」。区内外の職人が集まり、その技術を披露します。



荒川区内で活躍する若手職人たち

〈申込みについて〉 募集等の詳細につきましては、下記までお問い合わせください。
(<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a016/bunkageijutsu/dento/takumikusei.html>)



〈問 合 せ 先〉 荒川区立荒川ふるさと文化館（月曜休館、月曜祝日の場合は翌日休館）
〒116-0003 東京都荒川区南千住 6-63-1
電話 03 (3807) 9234 FAX 03 (3803) 7744



匠の町、荒川区

新しさと懐かしさが同居している東京の下町、荒川区。江戸時代から伝えられてきた技術をもつ職人（＝匠）が町のあちこちに住んでいます。荒川区は、ものづくりの町、匠の町として知られています。

江戸時代の荒川区には、日光街道の宿場町「千住宿」がありました。とてもにぎやかな町で、ろうそく屋、足袋屋、大工、下駄屋、染物屋、鍛冶屋、石工といった職人が多く住んでいました。また、農業の合間をぬって、大名屋敷の庭の手入れをする植木屋、胡粉（白い絵の具）、紙作りなどのもの作りに関わる人たちもたくさん住んでいました。明治時代になって、ヨーロッパやアメリカの暮らしぶりがどんどん入ってきてからも、時代の移り変わりの波を乗り越えて技術は伝えられました。

現在、区内には、木材を加工して和風の家具を作る指物や桐たんす製造などの技術、浮世絵の版画を作る技術、雛人形を作る技術、銀や銅の板をたたいて急須や皿などの食器を作る鍛金の技術、提灯文字・寄席文字・勘亭流文字といった江戸のデザイン文字を書く技術など、職種はバラエティーに富んでいます。これらの伝統工芸技術は、未来に伝えなければならない、荒川区の貴重な文化財として大切に守られています。



勘亭流文字の作品

心と技を未来に伝える「荒川の匠育成事業」のご案内

「荒川の匠育成事業」のあらまし

（1）ステップ1～職人見習い～について 〈荒川区伝統工芸技術短期現場実習支援事業〉

伝統工芸技術の職人のもとで、職人見習いとして短期の現場実習を行います。その間、荒川区から研修手当が支払われます。ステップ1を終了し、引き続き職人のもとで修業を希望する方は、審査の後に、「ステップ2～弟子入り修業～」へ進むことができます。

〈期間〉	3ヶ月間
〈現場実習の対象者 （＝現場実習者）〉	高等学校を修了した（卒業予定者含む）40歳くらいまでの方で、将来、荒川区内に住み、伝統工芸の職人となる意志のある方。
〈指導する職人〉	伝統工芸技術を持つ職人（伝統工芸技術保持者） 荒川区文化財保護条例に基づく荒川区登録・指定無形文化財（工芸技術）保持者、または文化財保護奨励団体の構成員で伝統工芸技術を有する職人の方。
〈補助金〉	●現場実習者への研修手当 3千円／日（上限6万円／月）

（2）ステップ2～弟子入り修業～について 〈荒川区伝統工芸技術新規継承者育成支援事業〉

基本的に、ステップ1を終了した方を対象とします。伝統工芸技術を持つ職人のもとに弟子入りして、本格的に修業を行います。その間、荒川区から研修手当等が支払われます。

〈期間〉	3年（最長6年まで）
〈本格的修業の対象者 （＝新規継承者）〉	ステップ1終了後に、引き続き職人のもとで修業を希望する方、またはすでに荒川区内の伝統工芸技術の職人のもとで修業を始めて6年以内の方で、基本的に、将来3年以上荒川区内に住み、伝統工芸の職人になる意思のある方。
〈指導する職人〉	同上
〈補助金〉	●新規継承者への研修手当 5千円／日（上限10万円／月） ●継承者への家賃補助（荒川区外に住む方が荒川区内に住んだ場合）上限3万円／月

（3）ステップ3～若手職人の作品展示会～

本事業で技術を修得した方の作品展示会を実施して、その成果を公開するとともに独立への契機とします。